

国際交流基金のオリンピック・パラリンピックの機運醸成に関する取組 ①

(1) リオデジャネイロ 2016年大会に合わせて実施した事業



リオ五輪開催に合わせて、「1964年東京の回顧から、2020年TOKYOへの展望」をコンセプトに、日伯共同で、美術、映像、舞台芸術分野の事業を総合的に展開。

◆ 公演事業 日伯ポップスコンサート共同制作

Look at the Sky: 上を向いて歩こう ～リオから東京、世界へのメッセージ～

時代も国境も越え今なお世界で歌い継がれている「上を向いて歩こう」を中心に、両国アーティストの共演によるコンサートを実施。

- ・会期: 2016年7月29日・30日
- ・会場: VIVO RIO
- ・出演: <日本> 東京スカパラダイスオーケストラ、マルシア
<ブラジル> バネッサ・ダ・マタ、エミシーダ
- ・来場者: 約1,800名(両日合計)
- ・報道: 現地におけるテレビ・新聞報道のほか、日本国内でもNHK等のテレビ報道や朝日新聞・共同通信等の新聞報道多数



◆ 展示事業 「コンテンポラリーの出現: 日本の前衛美術 1950-1970」展

戦後日本の前衛美術をブラジルに初めて紹介。1964年東京五輪を境に大きく変貌を遂げた首都・東京のエネルギーを吸収するかのような前衛的な作品の数々を紹介。

- ・会期: 2016年7月14日～8月28日
- ・会場: パソ・インペリアル美術館

◆ 映像事業 日本映画上映「中平康監督特集」

第1回東京五輪(1964年)開催当時に活躍していた巨匠たちの中から、中平康監督の特集上映を実施。

- ・会期: 2016年7月27日～8月1日
- ・会場: ブラジル銀行文化センター・シネマテーク

国際交流基金のオリンピック・パラリンピックの機運醸成に関する取組 ②

(2) スポーツ・文化・ワールド・フォーラムに合わせて実施する事業

◆ ディヴァイン・ダンス 三番叟 かみひそいき ～神秘域～

フォーラム公式文化イベントとして、世界各国からの招待客及び一般を対象に、日本を代表する一流アーティストによる特別公演を企画・実施。

- ・日時:2016年10月21日 19時00分～20時00分
- ・会場:Bunkamura オーチャードホール
- ・美術・演出:杉本博司
- ・主演:野村萬斎
- ・演目:三番叟



◆ イノベーティブ・シティ・フォーラム

「都市とライフスタイルの未来を描く」をテーマに2013年より開催しているイノベーティブ・シティ・フォーラムを、2016年度は、部分的にスポーツ・文化・ワールドフォーラムと会期を重ねて実施。

- ・時期:2016年10月19日、20日
- ・主催:森記念財団、森アートミュージアム、アカデミーヒルズ
- ・共催:国際交流基金アジアセンター、MIT Media Labo
- ・プログラムコミッティー:竹中平蔵、市川宏雄、南條史生、伊藤穰一

